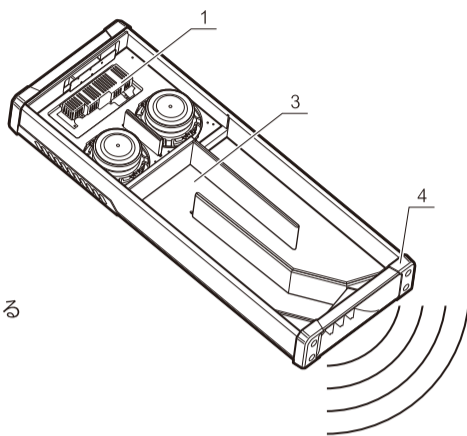


取扱説明書

正しくご使用していただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。

●特長

1. ハイパワーと省電力を両立させた「DSP搭載CLASS-Dアンプ」を実装
2. 付属のワイヤードリモコンで好みの音楽に合わせて「DIGITAL EQ (DEEP / DYNAMIC)」を選択可能
3. 薄型エンクロージャーから本格的な重低音を再生するバックロードホーン方式を採用
4. 防滴性に優れ、ラゲッジルームを効率よく使える積載対応設計
5. RCAライン接続に加え、純正システムに手軽に接続できるスピーカーライン入力コードを同梱



●ご注意とお願い

注意 人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。

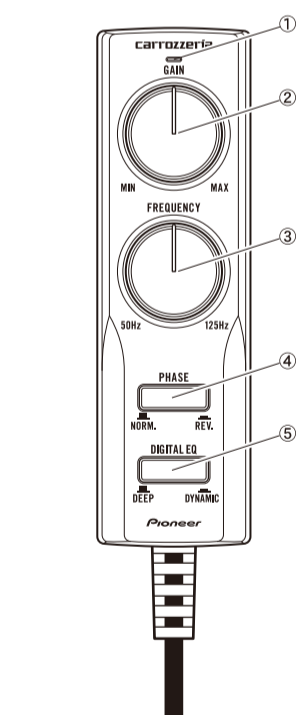
■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

<p> 注意 (警告を含む) しなげなければならない内容です。</p> <p> エアダクトおよびサイドダクトに手を入れない火傷やけがをする原因となります。</p> <p> エアダクトおよびサイドダクトを塞がない正常に動作が出来ず、火災や故障の原因になります。</p> <p> リモコンを他の機器につがなないリモコンだけでなく接続した機器が故障する原因になります。</p>	<p> 必ず行っていただく強制の内容です。</p> <p> リモコンを直接日光の当たる場所への設置や、放置しない変形や故障の原因になります。</p> <p> 動作中にコネクタの抜き差しは行わない故障の原因になることがあります。アクセサリやシステムリモートで本機の電源を切ってから、コネクタの抜き差しを行ってください。</p>	<p> 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。</p>
---	--	--------------------------------

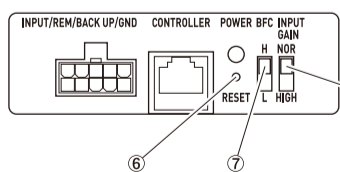
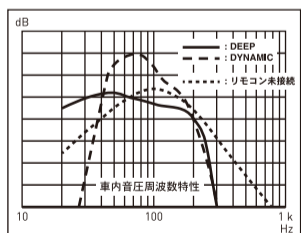
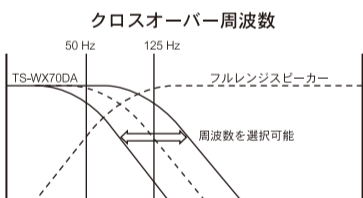
●本機のキャビネットの上に直接荷物を置くとかキャビネットを傷つけたり、色が移ることがあります。角や先端が鋭利なものや色落ちしやすいものは、直接キャビネットの上に置かず、保護シートなどを敷いてその上に置いてください。

●本機は、低域雑音のもとと多いカーステレオシステムと組み合わせて使用しないでください。カセット、CDの出し入れ時や、電源のON/OFF時に、ポップ音(ポンという音)などの雑音が再生される場合があります。

●各部の名称と使い方



- ① パワーインジケータ
 - 電源が入ると点灯します。
- ② ゲインコントロール
 - つまみを回すことによりサブウーファーの音量を調節できます。お好みのレベルに合わせて、ご使用ください。
- ③ ローパスフィルター
 - つまみを回すことにより、再生帯域を可変できます。システムに合わせて調節してください。
- ④ 位相切り替えスイッチ
 - 他のスピーカーシステムと位相が合っていない場合、音のつながり感が損われて聴こえることがあります。システムに合わせ、切り替えてご使用ください。
- ⑤ DIGITAL EQスイッチ
 - スイッチを押すことで、サブウーファーの特性が変化します。音楽に合わせてお好みのEQに設定してください。
- ⑥ RESETボタン
 - RESETボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態(ご購入直後の状態)にもどります。次のようなときに、RESETボタンを押してください。
 - ・接続が終わった後
 - ・本機が正しく動作しないとき
- ⑦ BFCスイッチ (BFC)
 - カーステレオ(カーラジオ)でAM放送を受信している際、ビート音が聞こえるときに切り替えてください。
- ⑧ ゲイン切り替えスイッチ (INPUT GAIN)
 - ゲイン切り替えスイッチは、接続したカーステレオの出力レベルに、本機の入力レベルを合わせるためのものです。(プリアウト最大出力レベルはカーステレオ取扱説明書のおもな仕様または仕様部を参照ください。)
 - ・RCAケーブルを使用して接続する際に、カーステレオのRCAプリアウト最大出力が4V以上の場合は、HIGHに切り替えてご使用ください。
 - ・スピーカーライン入力配線でご使用の場合は、必ずNORの位置でご使用ください。



- 注意** リモコンを接続しない場合でも本機を使用することは可能ですが、次の制約があります。
- パワーアンプは最大で出力されますので、適切な音量までカーステレオの設定でサブウーファーの出力を下げてください。
 - RCA接続時、カーステレオの機種により「サブウーファー出力への切替え設定」が必要な場合があります。切替え方法はカーステレオの取扱説明書をご参照ください。
 - 本機のローパスフィルター機能が無効化されますので、カーステレオ側でサブウーファーのローパスフィルターを設定してお使いください。カーステレオの調整機能についてはカーステレオの取扱説明書をご参照ください。
 - 位相はNOR(正相)に固定されます。本機側での切替えはできません。
 - スピーカーライン入力配線でご使用の場合は、カーステレオ側でサブウーファーの音量、ローパスフィルターの調整ができませんのでリモコンは必須となります。

●配線のご注意とお願い

- 本機への配線は、必ず付属のコードを使用してください。純正スピーカーに使用されていたスピーカーコードをそのまま使用しますと、ノイズ発生の原因となる場合があります。付属のコードとイグニッション、車載コンピューター、ハーネスなど、ノイズの多く発生するものを近づけないように配線し、ご使用ください。ノイズの発生源は車種により異なりますので、カーディーラーもしくは販売店様にご相談ください。
- スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性(+)、(-)を間違えて配線しますと低音感の乏しい音になります。
- 接続する場合、お手持ちのカーステレオの取扱説明書も参照してください。

●コード配線例

コンポデッキの組合せ (RCAピンジャック端子配線)

バッテリーパワー用
他の配線が終わった後いちばん最後に、車両ヒューズユニットを通した後の10A以上とれる常時供給電源端子に配線します。

スピーカー

パワーアンプ

ピンケーブルは別売です。

10 A (黄)

コンポデッキなど

0.5 A

赤 赤

白 白

システムリモートコントロール端子

リモコン

自動車ボディなどの金属部に、塗装などを剥がして、確実に配線してください。アースが不十分ですと雑音が混入したり、本機が正常に動作しないことがあります。

注)配線の際、コードをたるませた状態でコードクランパー⑥を取付けてください。

アンプ内蔵カーステレオとの組合せ (スピーカーライン入力配線)

バッテリーパワー用
他の配線が終わった後いちばん最後に、車両ヒューズユニットを通した後の10A以上とれる常時供給電源端子に配線します。

スピーカー

10 A (黄)

自動車ボディなどの金属部に、塗装などを剥がして、確実に配線してください。アースが不十分ですと雑音が混入したり、本機が正常に動作しないことがあります。

カーステレオ

0.5 A

スピーカーライン入力コード
純正のカーステレオと接続するためには、純正のコードにギボシ端子を付ける加工が必要になります。

システムリモートコントロール用(※)

注)配線の際、コードをたるませた状態でコードクランパー⑥を取付けてください。

※ オートパワーON/OFFについて

本機とカーステレオを、付属のスピーカーライン入力コードで接続した場合、カーステレオの電源ON/OFF動作と本機の電源ON/OFF動作は連動します。ただし、カーステレオによっては、この機能が正しく動作しないことがあります。この場合は、システムリモートコントロールコードを車両ヒューズユニットを通した後の2A以上とれるアクセサリ用端子に接続してください。また、複数のアンプと同時に接続する際は、システムリモートコントロールコードを使用してメインユニットとすべてのアンプを接続してください。

取扱説明書

●取付方法

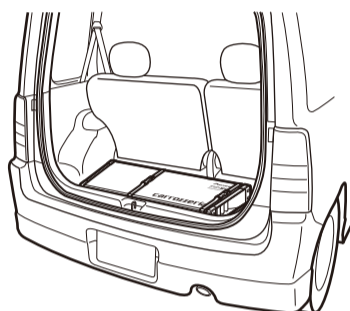


注意
必ず付属の部品を指定通り使用して、しっかりと固定してください。指定以外のものを使用すると内部の部品をいためたり、ゆるんで外れたりする危険性があります。

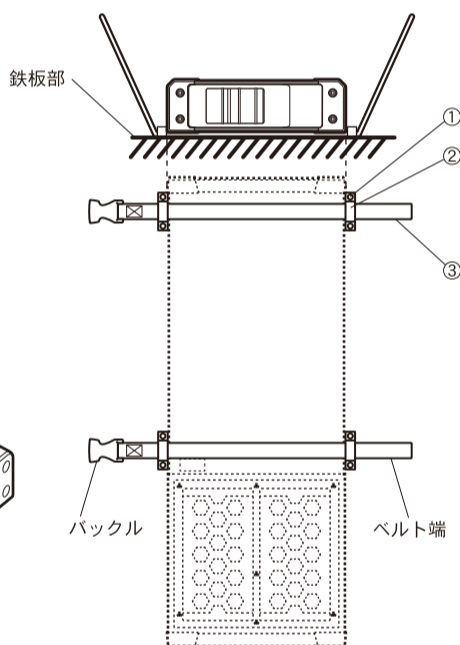
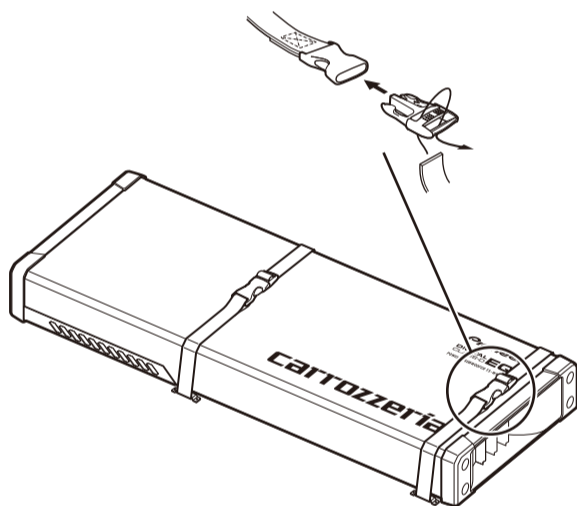
- 取付けは車の運転の邪魔にならない場所、また急停車などの場合に、同乗者に危険を与えないような場所を選んで取付けてください。リアシートのシートバックは立てた状態でご使用ください。
- 本機は水のかかる所やショートの危険のある所、直射日光のあたる所には取付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取だせる場所を選んで取付けてください。
- 本機のエアーダクト付近をふさいだりしないように取付けてください。
- 車両に穴をあけるなど、加工を必要とする場合は、販売店様にご相談ください。

アドバイス

本機を取付金具で固定する前にまず仮接続を行い、動作と音質の確認を行います。サブウーファーは取付場所や方向などの条件によって音質が変わる場合があります。本機が正常に動作することを確認してから固定作業を行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないかもう一度チェックしてください。



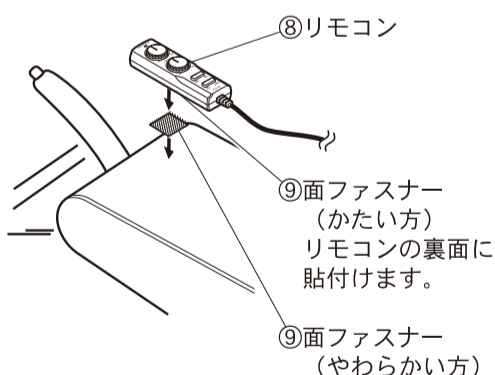
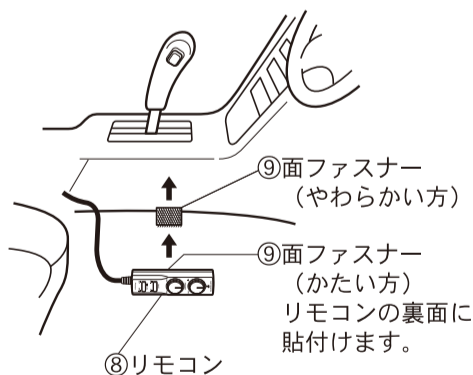
●固定方法



●リモコンの取付け

シフトレバーの脇に取付ける場合

コンソールボックスのフタに取付ける場合



●付属品

- ①ネジ $\phi 4 \text{ mm} \times 18 \text{ mm}$ × 8
- ②金具 × 4
- ③ベルト 1 m × 2
- ④コード 5 m × 1
- ⑤コード 5 m × 1
- ⑥コードクランパー × 1
- ⑦ネジ $\phi 3 \text{ mm} \times 8 \text{ mm}$ × 2
- ⑧リモコン 6 m × 1
- ⑨面ファスナー × 1

●故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや配線違いなどで故障と間違えることがあります。修理を依頼する前に下記のようなチェックをしてください。

症状	原因	処置
動作しない (音がでない)	車のバッテリーが接続されていない。	配線が終わったら車のバッテリーを接続してください。
	バッテリーパワーコード(バッテリーパワー用、黄)の配線が不完全。	バッテリーパワーコード(黄)を車両のバッテリーに配線してください。
	システムリモートコントロール用リード線(青/白ストライプ)の配線が不完全。	本機の青/白ストライプリード線をRCAピンジャックタイプのカーコンポネントのリモートコントロール用リード線に配線してください。スピーカーライン入力配線の場合はアクセサリ電源に配線してください。
	アースが不完全。	すべての黒リード線(アース用)を車のボディの金属部に確実に配線してください。また、金属部分にメッキ、塗装がついているとアースが不完全な場合があります。導通性を高めるため、ヤスリなどでメッキ、塗装などを十分に剥がしてください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し切れたのと同じ容量のヒューズと交換してください。
	各コネクターの接続が不完全。	確実に接続してください。
	RCAコードまたはスピーカーライン入力コードが外れている。	RCAコードまたはスピーカーライン入力コードを確実に配線してください。
音が不自然	スピーカーライン入力コードの極性(+) (-)が合っていない。	スピーカー出力端子に表示されている極性に合わせてスピーカーライン入力コードを接続してください。
	フルレンジスピーカーと本機の位相が合っていない。	本機の位相切り替えスイッチを切り替えてください。
雑音が混入する	アースが不完全。	すべての黒リード線(アース用)を車のボディの金属部に確実に配線してください。また、金属部分にメッキ、塗装がついているとアースが不完全な場合があります。導通性を高めるため、ヤスリなどでメッキ、塗装などを十分に剥がしてください。
電源のON/OFF時ポップ音が出る	カーステレオアンプのポップ音(ボンという音)がもとと大きい。	本機の配線時、ポップ音の少ない信号ラインに接続してください。ノイズ性能の良いシステムと合わせてください。
音が歪む、または音量が上がらない	接続するカーステレオの出力レベルと本機のゲイン切替スイッチの設定が合っていない。	カーステレオの最大出力レベルに合わせて、ゲイン切替スイッチを適切に設定してください。
	スピーカーライン入力配線で使用し、かつ本機のゲイン切替スイッチ(INPUT GAIN)がHIGHの位置になっている。	スピーカーライン入力配線でご使用の場合は、ゲイン切替スイッチ(INPUT GAIN)を、必ず「NOR」の位置でご使用ください。
音量が上がらない	SPユニットへの過大入力を防ぐ為に、保護回路が入っています。	故障ではありません。
EQ切替時、一時的に音量が下がる		故障ではありません。

●アフターサービスについて

1. 保証書について

ご購入時には保証書にお買い求めの販売店様の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめのうえ、(車検証入れなどに入れて)大切に保管してください。保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したときには保証期間中であっても保証が無効となりますのでご注意ください。カーナビゲーション商品の保証期間はご購入後1年間となっております。なお、当社はこのカーナビゲーション商品の補修用性能部品を製造切後、最低6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

2. アフターサービスについて

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。ご購入後の商品の修理・お取扱い(取付け・組合わせなど)のご相談は、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。お買い求めの販売店様へ修理のご依頼ができない場合は、修理受付窓口にご相談ください。保証期間経過後の修理につきましては、お買い求めの販売店様または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品につきましては、ご希望により有料で修理いたします。なお、本製品は持込み商品のため出張修理は承っておりません。引取り修理サービスをご利用ください。(お車から取外していただいた状態での引取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)弊社修理拠点へのお持込みは、商品をお車から取外した状態で承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、および脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店様、または取付店様にご相談ください。

修理についてのご相談窓口

修理受付窓口
<受付時間> 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■電話【固定電話から】 0120-5-81028 (無料) 【携帯電話・PHSから】 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合 050-3820-7550 (IP電話・有料)
■ファックス 0120-5-81029 (無料)
■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/repair/>
※インターネットによる修理のお申込みを受け付けております。

商品についてのご相談窓口

●商品のご購入や取扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について
カスタマーサポートセンター
<受付時間> 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■電話《カーオーディオ/カーナビゲーション商品》
【固定電話から】 0120-944-111 (無料) 【携帯電話・PHSから】 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合 050-3820-7540 (IP電話・有料)
■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)
■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします
<各窓口お問い合わせ時のご注意> 「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただきますので、発信番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。
平成27年12月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

●仕様

- ・スピーカー仕様 口径 $\phi 16 \text{ cm} \times 2$ スピーカーシステム型式
射出 PP コーン バックローデッドホーン方式
ハイコンプライアンスロールエッジ キャビネット MDF, 耐熱樹脂
特殊耐熱ボイスコイル 再生周波数帯域 ※
ストロンチウムマグネット: 460 g $\times 2$ DYNAMIC 20 Hz ~ 250 Hz
- ・アンプ仕様 DYNAMIC 40 Hz ~ 250 Hz
最大出力 100 W $\times 2$ (80 Hz, 30 % THD) 出力音圧レベル (IN-CAR, INPUT 2 V) ※
定格出力 50 W $\times 2$ (80 Hz, 1 % THD) DYNAMIC 104 dB
最大入力レベル / インピーダンス DYNAMIC 110 dB
(RCA ライン) 5 V / 22 k Ω サイズ
(スピーカーライン) 16 V / 5 k Ω 850 mm (横幅) \times 323 mm (奥行) \times 97 mm (高さ)
使用電源 DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V) 質量 (付属品を含む) 10.4 kg
最大消費電流 10 A 総質量 (梱包を含む) 11.8 kg
アース方式 マイナスアース方式 ※2種類の「DIGITAL EQ」を選択可能

上記の仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。